

## 第2学年2組 学級活動（3）学習指導案

指導者 ○○ ○○

### 1 題材「将来の自分について考えよう～教えて人生の先輩プロジェクト～」

### 2 学習の構想

#### 【このような生徒だから】

コロナ禍の社会情勢の中で、中学校生活が始まった生徒たちだが、だんだんと生活にも慣れているようである。3年間の中学校生活の折り返し地点を過ぎ、徐々に中学校卒業後の進路について考え始めている様子が見られる。

本学級の生徒は、2年生から進路に関する授業をキャリア・パスポートを使いながら行っており、中学校卒業後の進路について、真剣に考えようとしている姿も見られた。その一方で、まだ卒業後の自分のイメージが漠然としており、具体的にどう行動していけばよいのか分からないといった様子も見られる。学活（3）の授業の中で「あなたの将来の夢（なりたい職業）は何ですか？」と質問をした結果、職業名や理由について具体的に書いている生徒が18%、職業名や理由について書いているが、漠然としたイメージに留まっている生徒が52%、無記入の生徒が30%だった。この結果から、将来の自分についてのイメージができていなかったり、具体性が低かったりする生徒が多いことが分かる。

以上のことから、本学習を通して自分の中学校卒業後の進路について興味・関心はあるものの、具体的なイメージはできていないのが現状であると捉えた。

#### 【このような内容を】

本単元は、学級活動（3）「一人一人のキャリア形成と自己実現」に示された指導事項のうち、主体的な進路の選択と将来設計に関する内容である。

生き方や進路に関する情報を収集して活用するとともに、キャリア・パスポートの中の自分を振り返る項目を通して、自分自身の興味・関心などの個性を理解した上で、自分の将来の生き方や生活について見通しをもち、進路選択を行うようにするためのものである。

将来の自分のイメージが漠然としている生徒が多い中、人生の先輩から実際にアドバイスをもらえる本学習内容は、大変意義深いと考える。

#### 【このような指導で】

一次では、パワーポイントを見せながら中学校卒業後の進路について、大まかな見通しを持たせる。二次では、タブレットを用いて職業に就くための過程について調べさせる。三次では、身近な人に職業インタビューをさせたものを基に、人生の先輩がどのようにして自分のキャリアプランを決めてきたのかを知る。

最後に、本時（四次）ではゲストティーチャーの方々からの話を聞き、インタビューをする活動を通して、人生の先輩からのアドバイスをもらう。そして、それを基にこれから自分がどのようなことを大切にしたいかを考えさせ、中学卒業後の進路について、明るいイメージを持たせる。

#### 【このような視点を意識して】

◎自己の将来をイメージしながら、情報を収集する

＜D キャリアプランニング能力＞

#### 【このような生徒に】

##### < 題材の目標 >

知識及び技能	社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義や、現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能が身に付いている。
思考力、判断力、表現力等	現在の自己の学習と将来の生き方や進路についての課題を見だし、主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献することについて、自己の将来について、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くことができる。
学びに向かう力、人間性等	将来の生き方を描き、現在の生活や学習のあり方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。

### 3 題材計画（全4時間）

A…人間関係形成・社会形成能力 B…自己理解・自己管理能力 C…課題対応能力 D…キャリアプランニング能力

次	時	主な学習活動	指導上の留意点（○），評価規準と方法（◇）	視点
一	1	中学校卒業後の進路について考える。	○ 将来の自分について深く考えるきっかけになるように，パワーポイントを見ながら，仕事に就くまでに，いつ，何をしなければいけないかについて考えさせる。 ◇ 中学校卒業後の進路について，理解することができる。 【知識・技能】《ワークシート》	D
二	1	「なりたい仕事」につくまでの道のりを考える。	○ 就職までの過程について具体的に考えるために，タブレットを用いて適性検査をし，「なりたい職業」や「興味のある職業」について調べ，どのような学校に行けばよいのか，どのような資格が必要なのかを考える活動を設定する。 ◇ 職業に就くための過程について，タブレットを用いて具体的に調べることができる。 【思考・判断・表現】《ワークシート》	D
三	1	職業インタビューカードを用いて，自分の将来設計について考える。	○ 目指すべき自己の将来像を考えるために，職業インタビューカードを用いて，それぞれが調べたことを共有し，人生の先輩からの助言をもらうことで，職業選択や進路について，自分自身の考えを深める活動を設定する。 ◇ 進路学習前を振り返り，自分自身の変容を意識することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】《ワークシート》	D
四	1 （本時）	ゲストティーチャーの話聞いて，これからの自分の行動について考える。	○ これからの自分の行動について考えさせるために，ゲストティーチャーに「仕事や職業につくために，やってきたことや努力したことなど」を話していただく。 ◇ これからの自分の行動についてワークシートに記述することができる。 【思考・判断・表現】《ワークシート》	D
五	1	自己決定した行動を振り返り，これからの行動を考える。 （二学期を振り返って）	○ 望ましい行動の強化や，行動の修正，改善を考えさせるために，前時で設定した行動目標がどの程度達成できているのか振り返る活動を設定する。 ◇ 自己決定した行動を振り返り，よりよい今後の行動について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 《キャリア・パスポート》	B C D

3 本時 令和3年11月18日（木） 13:50～14:40 於：2年2組教室

#### （1）本時のねらい

ゲストティーチャーの話（仕事や職業につくために，これまでにやってきたことや努力したことなど）を聞く活動を通して，これからの自分がどう行動していくかを考えることができるようにする。

#### （2）本時で意識するキャリア教育の視点

意識する能力	意識する視点の具体
D キャリアプランニング能力	○ ゲストティーチャーの話をもとに，これからの自分の行動について考えることができる。

（3）準備 キャリア・パスポート，ワークシート

